

氏名	延原弘章	部署	健康開発学科・健康行動科学専攻	職名	教授
研究分野	保健統計・疫学				
学位	保健学博士、博士(医学)				
学歴	1980年東京大学理科二類入学、1984年東京大学医学部保健学科卒業、86年東京大学大学院医学系研究科修士課程修了、89年東京大学大学院医学系研究科博士課程修了				
経歴	1989年昭和大学医学部助手、93年岡山県立大学保健福祉学部講師、99年岡山県立大学保健福祉学部助教授、2001年高崎健康福祉大学健康福祉学部助教授、04年高崎健康福祉大学健康福祉学部教授、11年埼玉県立大学保健医療福祉学部教授				
所属学会(役職)	日本保健福祉学会(理事、学会誌編集委員)、日本公衆衛生学会、日本健康教育学会、日本疫学会、日本循環器病予防学会				

### 【2016年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	子どもの保健と支援 第4版	共著	日本小児医事出版社、P.354	編著者:平山宗宏、著者:安藤朗子、飯島純夫、今井邦枝、近藤洋子、倉橋俊至、齊藤多江子、田島貞子、千葉千恵美、堤ちはる、都澤しづ子、 <b>延原弘章</b> 、日暮真、宮原忍、山西加織、山本真美、渡辺俊之	2017.3
(2) 論文					
1	Perceptions of Factors Impacting Longevity among Hawai'i Older Adults	共著	HAWAI'I JOURNAL OF MEDICINE & PUBLIC HEALTH, 76(3), 71-76	Michiyo Tomioka, Kathryn Braun, Mieko Homma, <b>Hiroaki Nobuhara</b> , Tomio Kubota, and Hiromichi Sakai	2017.3
(3) 学会発表					
1	The Association Between Subjective Social Class and Dental Health Behavior in Japan	共著	2016 Epidemiology Congress of the Americas, Miami, Florida, USA	○Kanade Ito, Chihiro Wakabayashi, Yuki Noguchi, Yoshinori Kitabatake, Hiromichi Sakai, <b>Hiroaki Nobuhara</b> , Hiroshi Yanagawa	2016.06
2	日本とハワイの健康関連ライフスタイルの国際比較	共著	第75回日本公衆衛生学会総会、大阪	○ <b>延原弘章</b> 、本間三恵子、若林チヒロ、他	2016.10
3	添加物の摂取制限と階層意識・学歴・健康情報収集行動との関連:本邦・ハワイの比較	共著	第75回日本公衆衛生学会総会、大阪	○本間三恵子、 <b>延原弘章</b> 、若林チヒロ、他	2016.10
4	規則正しい生活習慣を心がけている人の特徴～ハワイ州と松本市(長野県)の検討～	共著	第75回日本公衆衛生学会総会、大阪	○金さやか、 <b>延原弘章</b> 、本間三恵子、他	2016.10
5	埼玉県市町村国保の特定健診結果におけるHbA1cの推移	共著	第75回日本公衆衛生学会総会、大阪	○徳留明美、 <b>延原弘章</b> 、萱場一則	2016.10
6	うつ病医療費の地域格差	共著	第75回日本公衆衛生学会総会、大阪	○出口聖人、 <b>延原弘章</b> 、安西将也	2016.10
(4) その他					
1	該当なし				

2. 競争的資金等の研究				
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	公営団地居住者への運動・栄養・口腔複合プログラム介入の検討(研究分担者)	2014.4~2017.3	
3. 教育業績				
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
(1) 講義				
1	保健福祉統計①②	2016.4~2016.6	専門基礎科目として、保健福祉に関する統計手法を教授した。	
2	疫学①②	2016.6~2016.8	専門基礎科目として、疫学について教授した。	
3	健康科学Ⅳ	2016.4~2016.8	健康行動科学専攻の専門科目として、保健統計を教授した。	
4	健康科学Ⅴ	2016.10~2017.2	健康行動科学専攻の専門科目として、疫学について教授した。	
5	保健福祉評価論	2016.10~2016.11	博士前期課程の学生に対して統計的手法を教授した。	
6	保健医療福祉研究法特論	2016.4~2016.5	博士前期課程の学生に対して疫学的手法を教授した。	
7	健康科学実証研究法特論①②	2016.4~2017.2	博士後期課程の学生に対して実証科学的研究方法を教授した。	
8	長寿健康福祉論①②	2016.4~2017.2	博士後期課程の学生に対して長寿健康福祉について教授した。	
(2) 演習				
1	コンピュータ演習①②③④	2016.4~2016.8	EXCELを中心に基本的なPC操作についての演習を行った。	
2	課題別演習Ⅰ	2016.4~2016.8	統計の演習を中心に、データ分析の基礎の演習を行った。	
3	課題別演習Ⅱ	2016.10~2017.2	統計的な手法を使った種々の研究論文の抄読を行った。	
(3) 実習				
1	IPW実習	2016.8~2016.10	多職種間連携実習で1グループのファシリテータを務めた。	
(4) 論文指導				
1	博士論文	2016.4~2017.3	副指導:5名	
(5) その他				
1	卒業論文	2016.4~2017.1	指導:3名	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	夢ナビライブ	フロムページ	健康に関する情報の見方-疫学と保健統計-	2016.7.9
2	夢ナビTALK	フロムページ	原因不明の病気を予防する疫学	2016.7.9
3	看護研究研修会	埼玉県看護協会第9支部	看護研究に役立つアンケート調査の統計処理-分析手法の選び方-	2016.5.28
4	国保主管課課長会議	埼玉県国民健康保険団体連合会保険者連絡協議会	レセプトデータを活用した医療費分析	2016.11.2
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	草加市	草加市振興計画審議会委員	2014.9~2016.9/ 2016.9~2018.9	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
5. 学内運営(委員会委員)				
1	大学院入試委員会 委員			
2	情報図書委員会 委員			
3	SPU学会 理事			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			